

令和7年
12月定例会号

むなかた市議会だより

令和7年
12月定例会の
あらまし

令和7年第4回宗像市議会定例会を、12月2日から19日までの18日間で開催し、市長提案議案39件、意見書案1件、議員提案発議3件について審議を行いました。

新年あけまして
おめでとうございます



岡本陽子議長

市民の声
「聴く力」を大切に

市民の皆さまにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より市政への温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、社会の変化はますますスピードを増し、暮らしの中で不安や戸惑いを感じられた方も多かったのではないかと思います。その中で、私たち議会は、一人一人の声に寄り添い、皆さまの「日々の実感」を大切に歩んでいく必要があります。

私は議長として、議会が「市民の中に溶け込む存在」でありたいと願っています。

地域の集まりや現場の声の中に身を置き、市民の皆さまの不安や喜び、小さな気づきを丁寧に受け止め、そこから政策の種を見つけていく―そんな「聴く力」を大事にした議会運営を進めます。また、これから宗像市は大きな節目の年を迎えます。新たな市政の方向性が問われる2026年を、市民の皆さまと「共に考え、共に選び、共につくる」一年にしたいと思えます。変化の時であるからこそ、市民の声が行政に真つすぐ届く仕組みづくりや透明性の高い市政運営を議会としてしっかりと支えます。

私は、宗像市がこれからも、誰にとっても暮らしやすく、温かさのあるまちであってほしいと願っています。その実現のために、議会の責任と役割を果たし、市民に寄り添った視点を決して忘れず、一歩一歩着実に前進します。

新しい年が、宗像市にお住まいの全ての皆さまにとって、希望と笑顔に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

公職選挙法では議員は答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています。市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

宗像市議会議員一同

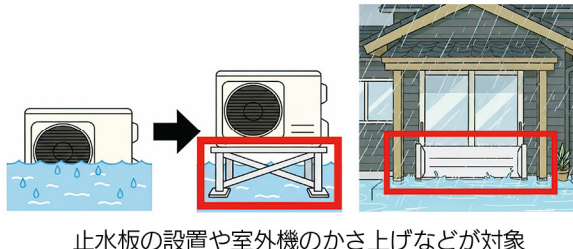
賛成多数(第3号)・全員賛成(第4号)で可決
第118号・第125号議案
令和7年度 宗像市一般会計補正予算

主な議案

令和7年度一般会計補正予算(第3号)および(第4号)が提案され、第3号では防災対策や学校部活動の地域展開に関する予算など、第4号では物価高騰に対応するための予算が計上されています。主な内容は次の通りです。

第3号
▼防災対策事業費の増額
(1360万円)

出水期の防災対策として、住宅や店舗で使用する止水板の購入・設置、浸水対策工事などに対する補助制度を新設する。



止水板の設置や室外機のかさ上げなどが対象

▼市民スポーツ活動推進事業費の増額(325万2千円)

中学校運動部活動の地域展開を進めるため、夜間を利用する照明機器や必要な備品などを購入する。

主な意見

《賛成者の意見》

●8月の豪雨災害以降の速やかな対応を評価する。部活動の地域展開において、認定地域クラブの立ち上げが進んでいない部活動では、保護者会とも連携が取れるよう検討してほしい。また、公共交通について、市民へBRTの周知をしっかりと行ってほしい。公共交通について、市民が使いやすいシステムを構築してほしい。特別職の報酬などの引き上げについては賛成できない。

《反対者の意見》

●豪雨災害対策の強化や第3号以降の保育料無償化、職員の給与引き上げを評価するが、特別職の報酬の引き上げについては、市民の理解が得られないため反対する。

第4号

▼物価高対応家計応援金事業費(5億8022万3千円)

物価高騰による負担軽減のため、全市民を対象に、1人当たり5千円を現金給付する。

▼物価高対応子育て応援手当支給事業費(3億5986万8千円)

物価高対応子育て応援手当として、0歳から18歳までの子どもに1人当たり2万円を給付する。

▼中小事業者等支援事業費(1億3610万6千円)

プレミアム付き商品券の発行に加え、事業者に賃上げを促すコンサル支援や相談窓口を開設する。

▼デマンド交通事業費ほか1事業(5282万円)

地域公共交通の利用促進のため、デマンド交通無料キャンペーンや公共ライドシェアの登録キャンペーンを行う。

▼公共交通整備事業費(2380万円)

市内公共交通事業者の乗務員確保支援のため、市民への第二種運転免許取得補助や市内公共交通事業者への就職支援を行う。

▼高齢者施設等物価高騰対策支援金給付事業費ほか2事業(1382万7千円)

保育、福祉、介護施設の光熱費負担軽減のための支援を行う。

▼市民文化芸術活動推進事業費
民スポーツ活動推進事業費(5676万8千円)

指導者謝金や道具代など部活動の地域展開における認定地域クラブの経費全般を支援し、保護者負担を軽減する。

全員賛成で可決
第116号議案

宗像市地区計画の区域内
における建築物の制限に
関する条例の一部を改正
する条例について

公園通り地区において、在宅医療と介護を一体的に提供する医療・福祉施設の立地を誘導し、また、低層系住宅の建設を可能とするため、公園通り地区地区計画を変更する。



開業予定の医療・福祉施設のイメージ

ピックアップ!

各地区のコミュニティ・センターなどの指定管理者が決定

令和8年4月以降の指定管理者の指定をするに当たり、議会の議決を求める18議案が提出されました。

議会は、所管する委員会慎重に審査し、本会議最終日に全ての議案を可決しました。

このうち「宗像市東部観光拠点施設(赤馬館)」については、指定管理期間を従来の4年間で2年間に短縮し、施設の意義や今後の方向性などの再構築を行うこととしています。

【可決された施設名と指定管理者】

施設名	指定管理者
宗像市コミュニティ・センター(市内12地区)	各地区コミュニティ運営協議会
宗像市体育施設(宗像市民体育館、宗像市弓道場、宗像勤労者体育センター、宗像市玄海B&G海洋センター、宗像市運動広場)	一般社団法人宗像市スポーツ協会
宗像ユリックス総合公園および宗像総合市民センター	公益財団法人宗像ユリックス
宗像市大島福祉センター	社会福祉法人宗像市社会福祉協議会
宗像市立大島へき地保育所	社会福祉法人紅葉会
宗像市自転車等駐車場(東郷駅)および宗像市自動車駐車場(東郷駅)	公益社団法人宗像市シルバー人材センター
宗像市東部観光拠点施設(赤馬館)	赤間地区コミュニティ運営協議会

一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和7年12月3日から8日までの4日間にわたって、
18人の議員が合計33項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは2月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



防災訓練の様子

問 本市は、平成30年7月の集中豪雨時に河東地区に緊急避難指示を発出した。その際、市職員が各家庭を一軒ずつ巡回し、避難誘導を行った。その後、雨に強いまちづくりビジョンを策定し、移動式排水ポンプ車や災害用トイレカーの購入など、災害対応を加速し

て進めてきた。しかし、近年の異常気象は想定を超えてきている。市民の安全安心な生活における市長の考えは。 **答** 市民の命と安全を守るために、今できる備えを着実に進めることが重要だと考える。雨に強いまちづくりビジョンに基づく整備計画を前倒しして進め、洪水リスクの早期軽減などを目指す。併せて、国や県に対して必要な支援を強く要望していく。また、防災教育などを通じて、市民一人一人が災害に備える意識・習慣を身に付けることが大切だと考える。



災害に強い宗像を目指して
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 令和7年8月豪雨を受け、田久自治会、田久水害対策期成会、土六自治会、赤間駅周辺活性化協議会から提出された「田久交差点付近及び赤間駅周辺の水害対策の早期実現に関する緊急要望書」に対する市長の見解と具体的な対応を問う。 **答** 観測史上最大の雨量を記録した状況を深刻に受け止め、水害対策事業の前倒しを行う。また、釣川や山田川などの治水を担う県へ事業進捗を強く求めるとともに、国会議員の現地確認や国担当者の視察を踏まえ、国に対しては災害対策の加速を働きかけていく。 **問** いつ誰に働きかけるのか。 **答** 年明けに財務省へ行く準備を進めている。 **問** 宗像市防災対策基本条例にある災害ボランティアの支援と育成についての考えは。 **答** 条例にあるようにしっかりと努めていく。



要望書を渡したときの様子



災害に強いまちとは
宗像志政クラブ／安部 芳英



問 小中一貫コミュニティ・スクール研究発表会の目的は。 **答** 学校運営の現状や課題を地域住民や保護者と共有し、改善策を共に考え、教育活動の充実と特色ある学校づくりを推進すること。学校を核とした地域活動の活性化や保護者と地域住民のつながりを深め、安心・安全な地域づくりに貢献することである。 **問** 研究発表会の研究成果を市の施策に生かせないか。 **答** 児童生徒目線には市職員にない観点が含まれていることもある。



宗像の教育の充実を図るためには
未来むなかた／北崎 正則



（そのほかの質問）
・気候変動に負けない農業、水産業への支援は



本市が運営する公共ライドシェア（乗合タクシー）「むなかた」は現在岬・自由ヶ丘・河東地区の3地区で実証運行しており、令和8年3月から段階的に本格運行が始まる。 **問** 運行エリアや運行時間の検討状況は。 **答** 平日と土日の毎日運行を予定しており、利用状況や地域の意見を聞き、運行エリアや運行時間の見直しを行うっていく。 **問** 令和6年に西鉄バスから津屋崎〜鐘崎線を廃止したい旨の申し出があったが、その後の経過と本市の対応は。



公共交通について
日本共産党／川内 亮



答 事業者と協議を重ねる中で、令和8年3月末で同路線のうち京泊〜上大王寺およびひかりヶ丘〜赤間営業所の路線廃止の申し出があった。そのため、令和8年4月から路線の再編を行い、主要なバス停に停車し高速輸送が可能なBRT方式の路線を導入予定である。

産業振興条例の制定によって、基本理念や市・事業者・市民それぞれの役割を明文化し、政策の一貫性や持続性を高め、庁内調整や予算確保を進めやすくするなどの効果もあがる。 **問** 条例の制定について、本市はどのように考えているか。 **答** 効果が目に見える一方、社会経済の変化への即応性などが課題となる。現時点では産業振興計画で条例のメリットを補完しており、条例の必要性については今後研究していく。



産業振興条例制定の方向性は
宗像志政クラブ／小林 栄二



有害鳥獣対策について
問 本市では、どのような有害鳥獣対策を行っているか。 **答** 捕獲による個体群管理や侵入防止対策を中心に実施しており、銃やわなでの捕獲は宗像猟友会の駆除部会に委託している。



EVモーターズ・ジャパンの中国製EVバスについて
問 EVモーターズ・ジャパンの中国製EVバスは不具合が多発し、リコールも発表されているが、経過を周知すべきでは。 **答** 国土交通省による総点検を踏まえた上で、点検結果や今回の経緯を周知する。 **問** 今後の使用について市の考えは。 **答** これまで実施した点検のみで運行を開始することは適切でないと考えており、安全性や耐久性が確認された時点で運行を開始する。 **問** 車両の不具合により、令和6年度は運行開始直後から17日間、



ふれあいバスのEVバスについて
宗像志政クラブ／石松 修



EVモーターズ・ジャパンの中国製EVバス

学校周辺の環境対策について
問 河東西小学校の周辺では、グラウンドから飛散する砂埃に苦慮している住民が多い。対策が必要ではないか。 **答** 対応策を検討・吟味し、決定した手法について地域に説明の機会を設ける。 **部活動地域展開について**
問 地域展開について保護者や指導者などから不安の声が寄せられている。それは関係者が具体的な不安や提言を市に直接伝える場がないまま、令和9年9月の完全移行が進められているためである。



学校周辺の環境対策について
日本維新の会／岩岡 良



不登校児童生徒へ教育機会確保について
問 不登校の子どもの実情をどのように把握しているか。 **答** エールやホープなどに通っている場合は関係機関に問い合わせる。通っていない場合は、定期的に保護者に連絡し、家庭訪問や電話などを通じて状況を確認している。 **問** 本市で全日制以外



不登校児童生徒へ教育機会確保を
ふくおか市民政治ネットワーク／田中 るみ子



の高校の進路説明会を開催してはどうか。 **答** 不登校の親の会とも対話しながら、進路説明のあり方について考えていきたい。 **子どもが幸せに生きるための包括的性教育を**
問 人権に基づく包括的性教育の啓発は。 **答** 講座や講演会の開催で啓発に努めていく。 **問** 中学生に対して、包括的性教育などを含め性に関する教育を年1回行っているかどうか。 **答** しっかりと取り上げていけるよう、学校側とも対話しながら進めていきたい。



公契約条例制定の検討を 日本共産党／新留 久味子



公契約条例とは、市が工事などを発注する際に適正な賃金などを契約事項に定めることで労働者の生活の安定や公共サービスの質の向上を図る条例である。



課題が生じた場合は必要性を確認する。

自治会の防犯灯の維持管理費を公費で

自治会が負担する法的根拠は。

直接的に定めた法令はないが、国の防犯灯等整備対策要綱に基づき運用している。

年間の電気料金は、1基当たり約1700円である。

維持管理費を公費で賄えないか。

現状の運営を継続したいが、まちづくり交付金の見直しの中で過度な自治会負担にならないよう努める。



宗像の豊かさを形にする都市計画 豊創会／吉田 剛



都市計画とは、地域の持つ豊かさを引き出し未来の都市ビジョンを創造する羅針盤だと考える。

本市の都市計画の目的と現状は。

将来にわたり安全かつ快適に住み続けられる持続可能な都市の実現を目的としている。

現状は、都市機能が広範囲に分散しており、インフラの維持が課題となっている。

近隣の古賀市・福津市の都市計画の目的は。

古賀市は、産業機能の強化、福津市は、居住環境の充実を目指す。



地域の自治会の発展のために 未来むなかた／三島 隆由



自治会加入率低下の現状と原因は。加入率を高める支援策は。

加入率は現在64.7%に低下しており、役員負担の重さや人材確保が困難なことが要因である。広報での加入促進・啓発や転入者への案内、研修会、相談対応を実施し、負担軽減や支援強化のほか、

自治会の意義を市民にしっかり伝えていく。

中学校部活動の地域移行について

地域移行の根拠や課題、対応策は。

国のガイドラインに基づき令和9年9月までに移行予定。活動場所への移動手段が課題であり、公共ライندシェアの利用も視野に入れ、学校単位にこだわらず、市内で偏りなく希望の活動が継続できる環境づくりを進める。子どもたちがやりたい活動ができる状況をケースに応じてつくる



不登校対策の強化について 清政郷土むなかた／花田 哲



いずれの支援にもつながっていない児童生徒への対応や保護者からの相談で市として工夫している点は。

支援機関などと未接続な状態を避けるため、生徒支援委員会やケース会議でスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、ホープ、

主任児童委員と情報共有し、家庭訪問や同行支援につなげている。学校以外の居場所を見いだすためのさまざまな支援がある

と児童生徒に伝えることが重要と考える。保護者支援では送迎時や電話・面談で相談を受



事務事業評価の公開のあり方 笑顔、むなかた／齋藤 元孝



国による減税の流れが進む中で、本市も事務事業の取捨選択が必要となる可能性がある。そこで事務事業評価がより重要になってくる。

本市が一部しか公開していない理由は。

より分かりやすい公開のあり方を模索した結果、現在の公開形式を採用している。

多少資料が難解だとしても、市民への説明責任として全面公開すべきでは。

市民への説明責任は大変重要だ。より分かりやすい表現など引き続き工夫していく。



地域猫活動の推進について 日本共産党／神田 亜希子



地域猫活動を行っている団体への支援内容はあるか。

不妊・去勢手術の実施に関する支援のほか、地域猫に係る相談体制を確保しアドバイスをを行っている。

去勢手術の実施手続きが複雑で難しいことや活動団体について

包括的性教育の取り組みを

包括的性教育には高い専門性が必要である。子どもたちが、専門家から学ぶ機会をつくれぬか。

専門的な知識を持つ外部講師の登用は、大変重要だと考える。今後学校と話をしながら積極的に進めたい。



郷土の偉人の功績の継承を 宗像志政クラブ／木藤 裕司



郷土の偉人のことは地域にどのように伝わっているか。

全国的にも知名度が高く、地域でもその功績が顕彰されている偉人がいる一方で、一般的にはあまり知られていない方々も多数存在しており、こうした郷土の偉人については、地域や家庭で語り継がれるような機会は少なくなっている。

学校教育の中で、郷土の偉人についてどのように紹介しているか。

授業などで紹介しているが、偉人伝としてまとめたものが少ない。

授業などで紹介しているが、偉人伝としてまとめたものが少ない。

授業などで紹介しているが、偉人伝としてまとめたものが少ない。



宗像出身の力士「沖ツ海」の墓



本市の施策を充実させるために 宗像志政クラブ／井浦 潤也



田熊石畑遺跡歴史公園の10周年記念イベントで、タイムカプセルを開けてお返しする事業があったが、未だその多くが返却されていない。市の広報紙などで周知できないか。

令和8年の二十歳のつどいで、受取プールの設置をはじめ、市の広報紙などで告知を行う。

小中学校の児童生徒が使用しているタブレット端末は、児童生徒と教員双方にとって効果的に家庭学習ができるかと考えるが、持ち帰りを検討できないか、持ち帰りについて

部活動地域移行において、学校の屋外運動施設でのナイター設備の充実が必要と考える。今後の計画は。

認定地域フットボール場、屋外で十分な活動ができるよう整備する。



マチイロ

マチイロアプリをお使いの皆さんへお知らせ

令和8年4月からマチイロアプリで市議会だよりのバックナンバーが閲覧できなくなります。最新号は引き続きご覧いただけます。

市ホームページでは引き続きバックナンバーを掲載します。令和8年4月以降はこちらからご覧ください。

